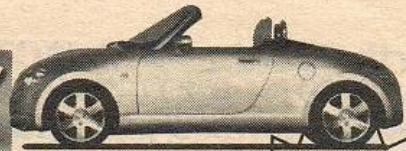


# コペンをハイリフトにしてみました!



最低地上高が日本車のなかで一番低いコペンをハイリフトするとこうなる。可愛いな～



こうなったらこのクルマ③

# ハイリフト車

地震でデコボコになつた場合を想定しなきゃいかん

東日本大震災では、地割れで道路がガタガタになったり、液状化により泥が道路上に吹き出して立ち往生してしまうケースが多くあった。とても車高の低い

## これはヤバイ! 最低地上高の低いクルマランキング

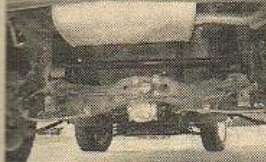
1位	105mm	コペン	
2位	110mm	GT-R	
3位	115mm	LFA	
4位	125mm	RX-8 / シビックタイプRユーロフェアレディZ	
7位	130mm	ロードスター / エッセ / スカイラインクーペ	
9位	135mm	iQ / アクセラスポーツ	

いクルマでは無理だ。そこで国産車のなかでこれはヤバイ! 最低地上高の低いクルマを調べてみた。見事、1位は105mmのコペン。10cm5mmはさすがに低い。ということで、コペンを震災から守るべく、ハイリフトにしてみようと作つたのが上の写真。コペンをローダウンするところはあるとしても、リフトアップしているシヨップは見つからなかったが、サンバーなど軽トラ専門にリフトアップしている「フォレストオート」さんがやるう

## ラシーンリフトアップ(ゼロカーディナル)



と思えばできるといつてくれた。フォレストオート製スプリングでリフトアップした場合、50mmアップ。リフトアップスプリングで35〜40mmリフトアップした後(ワンオフのため30万円前後)、タイヤを165/50R15から175/55R15に変更した場合、プラス10万〜15万円。タイヤがタイヤハウスに干渉しないと仮定した場合、トータルで50〜55mmアップする。さらにリフトアップする場合、



足回りはノーマルのまままでブラケットブロックを製作しボディや可動部分に負担をかけずに行なうゼロカーディナルのグリットサスペンションシステム。8インチで84万円～

ストラットASSYの交換が必要。他社から流用できれば、フロントは2本で4万〜5万円、リアは2本で2万〜3万円。これから先はロワアーム延長やボディ側にも手を加えるブロックやサブフレームによる補強材が必要になり、ワンオフで各スペーサーなど各部を延長。工賃80万円+αくらいかかるという。100mm

## 軽バン、軽トラ用リフトスプリング(フォレストオート)



スプリング装着で約35mm、タイヤを13インチにひと回り大きくして+15mm。いざという時の悪路走行や縮み側のストロークが増えて乗り心地が劇的によくなるという。車検対応、構造変更必要なし。サンバーやエブリイ、ハイゼットなど全車種3万9800円。スプリング装着+ヘッドライト光軸調整量+トーイン調整で、工賃は1万9800円

## スバル車用50mmUPキット(ロケットクラフト)



フロント40mm、リア55mmリフトアップし攻撃的なスタイルになる。価格は6万9800円。レガシィBD・BG系、フォレスターSF系、インプレッサGF系対応

以上リフトアップするには一筋縄ではない。ハイリフト専門店「ゼロカーディナル」ではラシーンのハイリフト車があったが、足回りは純正のまま、ブラケットブロックを製作して84万円。ここまでコペンもできたらいいのに。通常リフトアップする時、リフトアップサスペンションキットは車種により異なるが、デリカスペースギアをゼロカーディナルのグリットサスペンションを装着した場合、4インチで30万円前後から、2インチアップすることにより5〜6万円アップ。車高が低いクルマに乗っている人、ぜひ愛車のリフトアップをオススメしたい。

